

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	09 クールチョイス推進事業												
事業担当	所属	2508000 産業政策部 エネルギー環境戦略課				所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	540709	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	040501	施策名	環境を大切に生活・事業活動を推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	福知山市再生可能エネルギー活用プラン、福知山市環境基本計画							
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	SDGsやエンカル消費等の動きに応じ、地球温暖化等の気候変動対策として市内の再エネ・省エネ導入を進めるとともに、地域内でエネルギーと経済の循環を図ることで、様々な地域課題の解決につなげ、持続可能で豊かな地域を実現する。											
対象者	全市民	対象者数	76,709	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	市民、事業所、金融機関、龍谷大学等											
事業概要 (箇条書き)	・再エネ活用プラン及び事業化検討会議の提言を基本的スタンスとして、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を進めた。 ・各家庭でのエネルギーの自給自足を促進するため、再エネ・省エネ設備導入に対し、予算の範囲内で補助金を支給した。 ○家庭向け自立型再エネ補助 次の①と②の合計額(上限:補助対象経費の1/2以内) ①太陽光公称最大出力1kW当たり1万円上限4万円 ②蓄電池蓄電容量1kWh当たり3万円上限18万円(R3は上限9万円)に1万円(R3年度は2万円)加算 ○雨水貯留槽設置費補助 雨水貯留槽購入費の3/4(限度額4万円)※令和2年度で終了 ・福知山市クールチョイス宣言に基づく各種啓発を実施した。 ・その他、ゼロカーボンシティの表明や、市内建築建設業界との協定締結、福知山市SDGsパートナーの募集・認定登録を実施した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出実績(R2)			主な業務内容								
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	11,293	6,653	35,040	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	11,293	6,653	35,040		
予算財源内訳	① 一般財源	716	1,153	32,290	
	② 国支出金	7,077	0	0	
	③ 府支出金	3,500	3,500	1,950	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	800	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	11,293	6,653	0	0
	③ 執行額	9,861	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	87.3%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.80 / 0.00	1.10 /	1.10 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,400	8,800	8,800	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,261	8,800	8,800	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	再エネ自給率	%	3.6(未確定のため直近数値)	3.6(直近数値) / 3.8	3.6(直近数値) / 4	3.6(直近数値) / 4	6.4
			0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	家庭向け再エネ補助件数	件	10/10	15 / 20	15 / 15	15 / 15	累計50
	単位あたりコスト		350.8	657.4			
	雨水補助件数	件	5/20	4 / 20	13 / 15	13 / 15	累計50
	単位あたりコスト		701.6	2465.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>パリ協定の発効やSDGsなど国際的に持続可能な発展に向けた取り組みが進む中、本市もこの取り組みを強化するため、平成31年4月23日には「福知山市クールチョイス宣言」を、令和3年2月26日には「ゼロカーボンシティ」を表明した。近年の度重なる浸水被害等、市内でも気候変動の影響が生じ、その原因となる化石燃料の使用により域外に約200億円もの資金が流出している現状があり、市が率先して市民や事業者をはじめとするステークホルダーに呼びかけることで、地域全体が理解を深め、一体となってエネルギーと経済の地域内循環に取り組みめるよう推進した。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>事業の実施に当たっては、関係団体や民間事業者等との協働や、府の補助金を最大限活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭向け自立型再エネ補助…府補助 雨水貯留槽設置費補助…府補助
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<p>環境省や龍谷大学、京都大学、地球温暖化防止活動推進センター等の研究調査結果及び先進事例を十分活用し、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を推進している。成果実績であるエネルギー自給率は年々上昇しており、最終目標に近づいている。しかし、電力自由化等により、近年、自給率の把握が困難になってきている。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>・H30年度から「地球温暖化対策再エネ・省エネ推進事業」と「災害対策再エネ・省エネ推進事業」と統合し、新たに「再エネ・省エネ事業」として実施。R2年度からは「クールチョイス推進事業」に事業名変更。 環境政策室の環境・再生エネルギー係を廃止し、産業観光課の産業・エネルギー係(旧産業振興係)へ移管。従事する人員削減を図った。 ・H30年度は、再エネの事業化を図るため、龍谷大学等5者で地域貢献型再エネ協定を締結した。 ・R1年度は、福知山市クールチョイス宣言を行い、地域全体を巻き込んだ「環境・経済・社会」の域内好循環の取り組みを開始。温暖化やエネルギー、経済の各種課題の共通認識と解決方法の啓発に努めた。 (地域公共交通の利用促進や、省エネルギーの普及促進、再生可能エネルギーの普及促進、エコ防災の推進、地球温暖化対策を担う人材の育成など、脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品などを賢く選ぶ「クールチョイス(賢い選択)」を地域全体で共有。小学生向けオリジナル教材も作成し配布) ・R2年度は、市内の再エネ・省エネ住宅普及と建設業界の持続的な発展を図るため、令和2年11月24日に福知山建設業協会及び福知山建築工業協同組合と「福知山市再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する協定」を締結した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>環境省の地域経済循環分析(2013年)によれば、福知山市域のGDP約3300億円のうち、約200億円がエネルギー代金として域外に流出している。この代金を地域内でつくった再生可能エネルギーや、エネルギーの消費を減らす省エネ設備に切り替えることができれば、費用を地域内に留めて循環させることができ、地域経済の活性化につながる可能性がある。</p> <p>今後は、福知山市SDGsパートナーとの連携など、SDGsの「つくる責任 つかう責任」についての取り組みにおいて、クールチョイスやエシカル消費といった「つかう側」だけに訴求するのではなく、「つくる側」への働きかけも進め、エネルギーの地産地消による地域経済付加価値の向上を図るとともに、持続可能な脱炭素型の社会を次代を担う子ども達に示す取り組みも行い、専門機関の研究調査結果及び先進事例を十分活用しながら、国・府をはじめ、教育機関・金融機関等と連携して、地域貢献型再エネ協定に基づく事業に取り組む。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	21 環境保全一般事業												
事業担当	所属	2508000 産業政策部 エネルギー環境戦略課				所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	520121	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	40501	施策名	環境を大切に生活・事業活動を推進する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市環境基本計画、地球温暖化対策実行計画							
根拠法令等	福知山市附属機関設置条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	SDGsの理念に呼応し、環境・エネルギーの分野において「環境・経済・社会」の好循環を踏まえた福知山の将来像を考え、その実現に向けた指針(基本計画及び地球温暖化対策実行計画)に対し助言・検討を行う。											
対象者	全市民	対象者数	76,709	単位あたりコスト	0.2							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・本市における環境に係る施策について、環境審議会に諮問し、答申を受ける。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	-	-	-	128	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	#VALUE!		#VALUE!		128			
予算財源内訳	① 一般財源	-	-	-	128			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	-	二次公表時記載		0	0		
	② 配当予算	-	#VALUE!		0	0		
	③ 執行額	-	二次公表時記載		0	0		
	④ 執行率	-	二次公表時記載					
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.47 / 0.00	1.48 / 0.00	1.48 / 0.00	1.48 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	11,760	11,840	11,840	11,840	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	#VALUE!		11,840		11,840	0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	計画策定進捗率	件	0	0 / 0	100 / 100	/ 70	100
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	審議会開催	箇所	0	0 / 0	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・環境に関する指針や計画を策定する中で、各専門的な知見からの意見・助言が必要である中、本審議会は官公庁や大学を始め、さまざまな分野の専門家により構成されており、的確な意見や助言を得ることが出来ている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・専門家報酬のみとなっており、最低限必要な経費のみで運営できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・指針及び計画策定完了時期に対し、計画的に審議会を開催し、的確な意見及び助言を得ている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度においては、福知山市一般廃棄物処理基本計画の策定において諮問し、答申を受けた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和3年度以降においては、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を包含する新たな環境基本計画の策定に対し、環境審議会に諮問し答申をうける。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	13 環境基本計画推進事業												
事業担当	所属	2508000 産業政策部 エネルギー環境戦略課				所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	520113	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	040401	施策名	環境学習を推進する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	第2期福知山市環境基本計画							
根拠法令等	環境基本法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山市環境基本計画(中間見直し)策定事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	第2期福知山市環境基本計画に掲げる総合ビジョンを実現する。 総合ビジョンは、10年後～四半世紀後の福知山の将来像を表すもので、自然を大切に、人を大切に、資源を大切に、その循環(環[わ])を大切に暮らしてを営みながら、すばらしい知恵や知識を次世代へとつなげていく「まち」、共に幸せを生きる「福知山」を一人ひとりが創りあげながら実現する。											
対象者	全市民	対象者数	76,709	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山環境会議											
事業概要 (箇条書き)	第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトを、環境ボランティア団体である「福知山環境会議」が市と協働して実施し、計画で掲げる福知山の将来像(総合ビジョン)を実現していく。 リーディングプロジェクトの主なものとして、「みどりのカーテン実施率日本一」「福知山の自然体験」「由良川・里山」「生きもの調査」「サケの飼育と採捕・放流」「ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用」がある。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	638	588	588	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	638	588	588	
予算財源内訳	① 一般財源	319	294	294	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	319	294	294	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	11	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	649	588	0	0
	③ 執行額	643	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.1%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.50 / 0.10	1.11 / 0.10	1.11 / 0.10	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,250	9,130	9,130	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,893	9,130	9,130	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	「みどりのカーテン」実施率	%	8.3 / 16	4.4 / 17	5.2 / 18	/ 13	15
	Co2削減効果	t・Co2	328/630	173 / 669	205 / 709	/ 512	591
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	プロジェクト年間参加者数	人	2,856/3,000	2971 / 3100	383 / 3200	/ 3300	3500
	単位あたりコスト		0.2	0.2			
	単位あたりコスト		/	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市の環境啓発活動の中心となる事業で、市民に浸透しており、目的達成に不可欠な事業である。市民ボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市民・事業者らが無報酬で活動しており、交付金の使用内訳は、消耗品等の経費が大半を占める。必要最低限の経費で様々な活動が行われている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携しながら協働で活動できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市民、事業者、行政が協働で環境基本計画を推進していく中で、各プロジェクトが取り組む環境啓発活動には、目標とする参加人数には達していないものの、相当数の参加があり、一定の成果は得ることができた。ただ、みどりのカーテン実施率については、広報不足に加えて、日照不足や空梅雨の気象が影響し、目標値には大きく届かず実施率は低い結果となった。今後、実施率を上げるには、みどりのカーテンによるエネルギー消費削減率を具体的な数値で可視化し、その効果や利点を具体的に訴えて、取り組むことが重要であり、その他のプロジェクトについても、同様の視点で、参加人数だけでなく、目指しているビジョンの達成度を考えながら進めていく必要がある。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加を募った活動が実施できなかったことにより、プロジェクト参加者数は大きく減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	みどりのカーテン活動は、単に実施するだけでなく、地球温暖化防止効果について、COOL CHOICE事業と連携し、電気代削減効果及びCO2削減効果でPRする。 令和2年度に、第2期福知山市環境基本計画中間整理を行った中で、世界では、「SDGs」や「パリ協定」の採択、海洋プラスチックごみ問題などを受けての取り組みが加速し、本市においても、二酸化炭素排出量実質ゼロなどを目指すといった情勢の変化に即応するためには、上位計画であり、令和3(2021)年度に策定を予定している総合計画「(仮称)まちづくり構想 福知山」と整合を図りながら、新たな環境基本計画を策定することが急務であると考え、現計画の期間を前倒しし、令和3年度から新たな計画策定に取り組む必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	03 福知山市環境基本計画(中間見直し)												
事業担当	所属	2508000 産業政策部 エネルギー環境戦略課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	520103	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	040401	施策名	環境学習を推進する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第2期福知山市環境基本計画							
根拠法令等	環境基本法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	環境基本計画推進事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	第2期福知山市環境基本計画は、2015年4月から2025年3月までの10年間を計画期間として策定され、5年を経過したところであるが、計画後期にあたる今後5年間に於いて、基本理念やビジョンは引き継ぎつつ、現在の環境問題に関する世界的な動向や社会情勢の変化への対応、新たに策定された関連計画への整合を図る。また、これまでの各リーディングプロジェクトの活動に対する目標達成状況について評価・検証を行い、必要に応じて内容や指標、目標値の見直しを行う。											
対象者	全市民	対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)サンワコン、NPO法人環境市民											
事業概要 (箇条書き)	・策定に係る検討会議のコーディネート、検討資料作成、計画書のとりまとめを業務委託する。 ・検討会議開催(4回)、環境基本計画を推進するための組織である福知山環境会議に参加依頼し、これまでの活動の評価、課題の抽出を行い、今後の方針を検討する。 ・見直し計画案策定後、環境審議会へ内容報告を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	1,850	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	0	1,850	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,850	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0	0	0	
	② 配当予算	0	1,850	0	0	0	0	
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0	0	0	
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載					
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	0	1,840	1,840	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	1,840	1,840	0	0	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	計画策定進捗率	%	0	0 / 0	100 / 100	/ 0	100
		0	0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	検討会議開催	回	0	0 / 0	4 / 4	/ 0	4
	単位あたりコスト		0	0.0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0	0 / 0	/ 0	/	0

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 現在の環境問題に関する社会的動向を反映し、今後の環境施策の方向性や目標を示すために必要性が高い。 10年計画の中間点で見直しを検討することは、現計画にも示されており、PDCAサイクルによる計画進行管理を行う上で優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現計画の策定及びその推進活動を市と協働して進めてきた福知山環境会議に参画してもらうことにより、効率的かつ的確な内容検討が図られ、コスト削減につながる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 計画中間点において、現時点での社会情勢を勘案し今後の方針を決定することは有効的である。 検討会議はポイントを絞って必要最小限で開催することとし、その間、各々個別に検討を進める。 事前研修会により、現在の環境問題に関する社会的動向(気候変動、SDGs)を参画者の基礎知識として共有しておき、検討会議を重ねていく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現計画策定に参画され、また、計画の推進組織である福知山環境会議に検討会議のメンバーとなっていたことにより、新型コロナウイルス感染拡大防止策で集会が規制される中、最小限の会議により効率的かつ的確な内容にまとめられたことは評価できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	今回、第2期福知山市環境基本計画中間見直しの検討を行った中で、世界では、「SDGs」や「パリ協定」の採択などを受けての取り組みが加速し、温室効果ガス排出量実質ゼロなどを旨とする情勢の変化に即応するため、本市においても、上位計画であり令和3(2021)年度に策定を予定している総合計画「(仮称)まちづくり構想 福知山」と整合を図りながら、新たな環境基本計画を策定することが急務であると考え、現計画の期間を前倒しし、令和3年度から新たな計画策定に取り組む必要がある。(新計画策定に伴う専門家等による支援については、「地域貢献型エネルギー推進事業」に含む。)		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--